

キャンドルナイト @OMOTESANDO Eco Avenue 2010 夏至

2010.6.19

矢野大輔 + 藤井美沙 + 池田俊一 + 畠山美希

「でんきを消して、スローな夜を」をスローガンに、キャンドルを灯していつもと違った時間の過ごし方をしてみよう…という2003年の夏至から始まった環境NPOによるこのムーブメントは、今や日本全国で夏至と冬至の一大イベントとして様々な場所で行われています。

■Candlelight @ OMOTESANDO -Eco Avenue

2010年6月19日(土)夜8時から10時の2時間、表参道でキャンドルナイトが行われました。原宿表参道エリアのキャンドルナイトは2003年の冬至から始まり、今回で10回目を迎えます。

今年のテーマは「出会い キャンドル x LED」です。何百年も使い続けるろうソクの灯火と時代の最先端光源LEDが、表参道ケヤキ道でハイブリッドに出会う…。ということを念頭に東京近郊の美大生を中心とした総勢611名のスタッフが、表参道をあたたかなキャンドルとLEDの共存するあかりでケヤキ道を彩りました。

■キャンドルインスタレーション

今回のテーマは「出会い・キャンドル x LED」…ということで今回はLEDを積極的に取り入れた表現豊かな作品が表参道に登場しました。

普段見慣れたゴミ袋とブルーのLEDを組み合わせることで通路を幻想的に演出した作品や、ウィンググラスに入ったキャンドルの下をほんのりとLEDで光らせた水景の作品など、小型で熱が出にくいLEDならではの特徴をいかした作品が見られました。作品を手がけた学生たちは街中で火を扱うことに対して様々な視点からの安全対策に幾度となく悩みながらも最後まで一生懸命に取り組みました。頑張った甲斐があり、イベント本番はどの作品も想像以上に素晴らしいものとなっていたと思います。イベント本番の2時間はまさに打ち上げ花火のごとくぎゅっと詰まったエネルギーが街を彩っていました。(池田俊一)

■キャンドルカフェネットワーク

今年は表参道沿いのカフェ23店舗にご協力頂きました。学生がデザインをしたキャンドルや、お店独自のキャンドルを灯し営業して頂きます。

学生たちのキャンドルデザインは本番の5ヶ月前からはじまりました。毎回の講評会には、各チームの代表50名が集まり、皆でひとつひとつの作品のデザイン性・安全性を確認していきます。何度も作り直しが要求されましたが、学生たちのパワーで当日にはどのお店も自信作といえる作品がそろいました。また、昨年から作品にキャンドルのみでなくLEDも取り入れ、新旧の光源でスローな夜を演出することに取り組んでいます。今年ではふたつの光源を融合させたデザインに挑戦する学生が増えました。LEDが登場したことで、デザインの幅が広がっただけでなく、イベントを通してこれからの未来のスローな夜の過ごし方を考えるきっかけとなってくれているのではないかと思います。(藤井美沙)



総勢611名がキャンドルナイト@OMOTESANDO - Eco Avenueに参加し、表参道の街をキャンドルとLEDの光で彩りました。



ゴミ袋にブルーのLEDを組み込んだインスタレーション。見慣れたゴミ袋が美しい作品へと変身しました。



キャンドルとLED、ふたつの小さな光がお互いの光を引き立てています。



キャンドルの灯ったワイングラスの奥に見えるのはやわらかなケキ型行灯。これにはLEDが使われています。見事にマッチしていました。

■子供たちのキャンドルパレード

約40名の子供たちが神宮前小学校を元気よくスタートしました。子供たちは自分たちで作った行灯を手に持ってゴールの日本看護協会を目指して表参道を歩きました。子供たちが持っている行灯はイベントの数日前の放課後にワークショップで作った作品です。カラーセロハンやクレヨンで彩色された行灯は個性的なものばかりです。

大きな行灯を持った小さな子供たちは、表参道を行き交う人から優しい眼差しを受けながらゴール地点の大階段に到着です。階段には「木」をモチーフにした大きな光の装飾がされて、「なまえ」の描かれた行灯を持った子供たちは順々に階段に描かれた「木」に登っていきます。「なまえの木」と名付けられたこのインスタレーションは子供たち全員が階段の「木」に登ることで完成です。子供たちはまるで木の妖精のようで、周囲から見守る大人たちの目を楽しませていました。
(池田俊一)



上：ワークショップで子供たちは個性豊かな行灯を制作しました。
下：みんな自分たちが作った行灯を気に入っているようでした。ぜひ家でもキャンドルナイトを行って欲しいと思います。

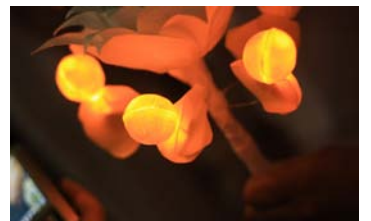
作品名「なまえの木」
階段に設置された木のシルエットに子供たちが並ぶことで完成です。

■オリジナル行灯

年々ボリュームを増していくオリジナル行灯企画。2010年全体のテーマである「出会い」をもとに製作した100種類の行灯を手に、約300名のスタッフが表参道の街を練り歩くパフォーマンスを行いました。キャンドルとLED、2つの異なる光の融合体はどこか不思議な光を放ち道行く人々の目を楽しませてくれます。ひとつひとつは小さな光ですが、これらが一度に集まることで表参道各地に点在するインスタレーションやカフェ・街全体をあたたかな光で繋ぎ、キャンドルナイトを盛り上げる重要な役割を果たしていました。行灯を通して来街者やスタッフ同士の会話も弾み、様々な「出会い」の場が生まれたように思います。あたたかな光と笑顔が絶えない二時間となりました。
(畠山美希)



行灯のイメージに合わせて衣装にも凝っていました。灯りと共に優しく可愛らしい雰囲気伝わってきます。



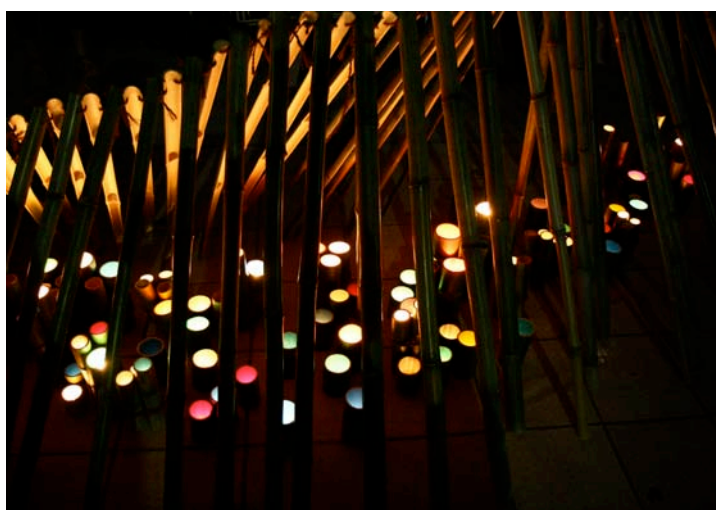
人から人へと渡される花束をイメージした作品。人の心の温かみや優しさを行灯のともしびにみたく、人と人のふれあいや思いやりを表現しました。

今年の candle night@OMOTESANDO-Eco Avenue のテーマは「出会い・キャンドル×LED」です。何百年も使い続けるろうソクの灯火と時代の最先端光源 LED が、表参道ケヤキ道でハイブリッドに出会います。二つとも大切な新時代をつくるあかり。美味しく料理されたキャンドル×LED は、ここで友情を深めます。

表参道と周辺の店舗等で実施される、①キャンドルインスタレーション、②キャンドルカフェネットワーク、③子供たちのキャンドルパレード、④オリジナル行灯の4種類のインスタレーションによって構成されました。9時過ぎから各インスタレーションごとにキャンドルを点灯し、22時までの3時間を来街者の皆さまにキャンドルのあかりでゆっくりとした時間を過ごして頂きました。

【概要】

イベント candle night@OMOTESANDO - Eco Avenue
日時 2010年6月19日 20:00-22:00
開催場所 表参道
主催 キヤンドルナイト@OMOTESANDO 実行委員会
後援 振)原宿表参道禪会
監修 面出薫(照明デザイナー・武蔵野美術大学教授)
竹村真一(文化人類学者・京都造形芸術大学教授)
佐藤卓(グラフィックデザイナー)



①キャンドルインスタレーション

美大生のデザインによる、キャンドルやLEDを使ったインスタレーションが表参道に現れます。いつもとは違う表参道の景色をお楽しみください。



②キャンドルカフェネットワーク

表参道周辺の参加カフェが美大生とコラボ。キャンドルを灯して営業しています。いつもとは少しだけ表情の違う、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか？



③子供たちのキャンドルパレード

神宮前小学校の子供たちが気持ちを込めて作った行灯を持って、表参道をパレードします。



④オリジナル行灯

キャンドルやLEDを灯した個性豊かなデザイン行灯が表参道に集まります。ぜひお気に入りの行灯を見つけてください。

■まとめ

今年は原宿表参道エリアのキャンドルナイト開催 10 回目という節目の年。これを記念して過去を振り返る写真展を行い、イベント当日はキャンドルナイトのオープニングイベントとしてその場で鼎談を行いました。始まりには原宿キャットストリートでの最後の開催と、表参道での開催 1 回目の映像を流し、監修メンバーからさまざまな思い出のコメントを頂くことができました。多くの来場者に囲まれて和やかな雰囲気の中でスタートした 2010 年のキャンドルナイト。最後まで和やかに、滞りなく開催できたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

来年はまたちょっと趣向の違うキャンドルナイトを行う予定です。どうぞお楽しみに！
(矢野大輔)



キャンドルナイトフォトギャラリーをバックに監修メンバーによる鼎談を行いました。



原宿キャットストリート時代の映像も上映されました。



真剣に聞き入る聴衆。

■広報

web では Twitter を活用しながらイベント内容を掲載し、6 月中の集計ではおよそ 44 万回のページアクセスを記録しました。また、以下のアイテムを制作し、本部等各拠点で配布しました。

- ・ フライヤー 6000 部
- ・ ポスター 50 枚
- ・ マッチ 2500 個
- ・ ティーキャンドル 2500 個



WEB サイト： <http://candlelight-omotesando.org>



左からマッチ、ティーキャンドル、フライヤー

■プレス掲載・報道

以下のメディアに掲載されました。

・新聞掲載

- 「朝日新聞 夕刊マリオン」2010年6月8日
- 「シブヤ経済新聞」2010年6月8日
- 「原宿新聞」2010年6月17日
- 「東京新聞 朝刊」2010年6月19日

・WEB

- 「フラコラ café」2010年6月10日
- 「Docomo I コンシェル」2010年6月17日
- 「東京ウォーカー ウォーカープラス」2010年6月18日
- 「表参道 Online」2010年6月18日

・雑誌

- 「東京ウォーカー 12号」2010年6月8日

・ラジオ

- 「Shibuya FM Shibuya Village Voice」2010年6月17日



2010年6月19日掲載（東京新聞）



2010年6月8日掲載（朝日新聞）

1000000人のキャンドルナイト in 今年2010

6/19日、大塚通り沿いの表参道の両側に参加者によってひとつずつ灯されたろうソク約600本が並ぶ。大塚通りは緑結びのイベントがあることでも知られ、キャンドルにはびびり、ミニライブも開催される。

candle night @ OMOTESANDO - Eco Avenue

6/19日、「出会いキャンドルLED」をテーマに、ろうソクの灯りとLEDで夜のケキをインスタレーションで飾る。また、キャンドルの下でディナーやカフェが楽しめる高層ビルに開催される。

100万人のキャンドルナイト 開催上巻

6/20日、風上寺を会場に東京タワーの展望台の展望台で、300以上のキャンドルが灯る。20:00の展望台からはShojo On Somebodyと豪華なライブが楽しめる。

Candle Night at Tokyo Midtown

6/20日、緑結びの思い、誰かへの思いをテーマに、学生広場でメッセージが書かれたキャンドル約2000個を使い、巨大なアート作品が作られる。20:00からは抽選会も開催予定とされ、より大規模な光景となる。

2010年6月8日掲載（東京ウォーカー12号）